

世界が進むチカラになる

MUFG ⑫

挑戦する企業



支払い効率化

三菱UFJニコスは、キャッシュレス決済の普及に向けて法人向けカードに注力している。中でも力を入れるのが、プラスチックのカードを発行せず、カード番号と有効期限のみを発行して使う「パーチェシングカード」。同社のパーチェシングカードは部署や目的に合わせてパーチャルカード番号（子番号）を管

パーチェシングカード普及へ

理者が発番できるため、支払い管理業務の効率化、悪用リスクの軽減につながるのが特長だ。特に自治体が導入することで取引する企業にもカード決済が広がること、自治体への提案活動を強化している。

自治体からパーチェシングカードの問い合わせが増えている背景をこう話す。同社は2022年12月、約1000の自治体にパーチェシングカードの自治体専用冊子を送付。その成果が着実に現れている。

どまらず、デジタル社会の実現と地域経済の振興に寄与するエコシステム（協業の生態系）構築に発展させたい」と期待を込める。

取扱高2倍に

同社は21年4月、部署

自治体に提案 商習慣変える

「合理化やデジタル化に取り組まなければならぬ」という思いを持ちながらも、何から取り組めば良いかわからないという自治体は多い」。三菱UFJニコス法人事業企画第2部長の石垣充隆は

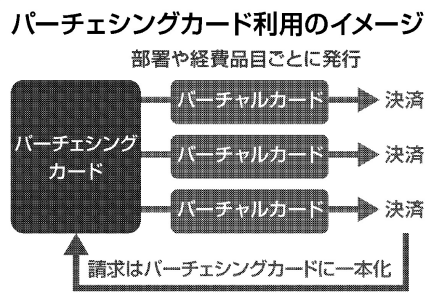
5月には和歌山県とパーチェシングカードの導入に向けた実証実験に取り組みことに合意。調達は開始。パーチャルカードを展開するのは「国内大手カード会社で唯一企業経費の最適化にと

や利用目的ごとに取引可能金額、利用回数、有効期間などを設定できるパーチャルカードの取り扱いを開始。パーチャルカードを展開するのは「国内大手カード会社で唯一企業経費の最適化にと

生かして市場浸透を急いでいる。ここ数年、パーチェシングカードの取扱高は前年から2倍程度伸びる状況が続いており、好調に推移している。ただ「企業経費の中で相手

効果を大きい。利便性、生産性が高いカード決済の普及に向け、三菱UFJフィナンシャル・グループ（MUFG）の基盤をさらに活用していく方針だ。

（敬称略）



がいる取引は年500兆円程度あるとみているが、そのうちカード決済の割合はまだ1%程度」（同社事業企画第2部長の石垣充隆）にとどまる状況だ。商習慣を変えていくためにも自治体がカード